



①②は疑問詞 who, what が主語となり、「誰が?」「何が?」を問うている。

【!】 疑問文に合わせた答え方に注意すること。

“Who painted this?” “Aaron did.”

「これを描いたのは誰?」「アーロンだよ」〔× It was Aaron. としない〕

類例 **Who will be pitching in the next game?**

次の試合で登板することになっているのは誰ですか。

What’s the matter with you? You look pale.

どうかしたのですか。顔が真っ青ですよ。

【!】 疑問代名詞が主語になる場合は**単数扱い**が原則

Who lives in that mansion? あの邸宅には誰が住んでいますか。

※ただし、述語動詞が be 動詞の場合は、後に続く名詞（句）の人称や単複が動詞に反映される。

Who are the members of this committee?

この委員会の構成員は誰ですか。

③④では疑問詞 which が主語になり、人・事物について「どちらが…か?」を問うている。which は、あらかじめ一定の選択肢が提示されている場面で用いる。③の場合、選択肢 the blue one と the brown one を示しつつ、「どちらが?」と聞いているが、④のように選択肢が話し手と聞き手の間で了解されているときは、それを明示しないこともある。

【!】 which を単数とみなすか複数とみなすかは、答えが 1 人（1 個）を選ぶことを期待しているのか、複数の人・事物を選ぶのを期待しているのかによって変わる。

Which (of these ties) goes [go] best with this shirt?

このネクタイのうち、どれがこのシャツにぴったりかな?〔相手がネクタイ 1 本を選ぶと質問者が想定しているのであれば goes, 複数を選ぶと想定しているのであれば go が選択される〕

発展 前置詞と whom / who

前置詞とともに who を文頭に移動する場合は、目的格 whom を使って〈前置詞＋whom〉の形にする。ただし、この表現は《かたく》響くので、who のみを文頭に持つてくるほうが一般的。

Who are you going to the party with?

≡ 《かたく》 **With whom** are you going to the party?

きみは誰とパーティーに行くのかい。

※短い応答や問い返しなどの時には《くだけで》では、〈前置詞＋who〉の形でよく用いられる。

“I went to the party with John last night.” **“With who?”**

「昨日、ジョンとパーティーに行ったの。」「え、誰とだって？」

一般に〈前置詞＋who(m)〉は既知の情報の確認の場面で用いられ、〈who＋前置詞〉は新しい情報を求める際に用いられる。

“I have to tell this to Mike.” **“To who(m)?”**

「このことをマイクに伝えないと」「え、誰にだって？」

“You have to tell the truth.” **“Who to?”**

「本当のことを言わないといけないよ」「誰にさ？」



- 9 “**Whose** *bicycle* is this?” “Probably, it’s Sam’s.” 554
「これは誰の自転車ですか」「たぶんサムのです」
- 10 “**What kind of** *music* do you listen to?” “I like jazz most.” 555
「あなたはどんな音楽を聴きますか」「一番好きなのはジャズです」
- 11 “**Which** *book* do you want to read this summer?” “I want to try something by Yukio Mishima.” 「この夏はどんな本を読みたいですか」「何か三島由紀夫の作品に挑戦してみたいです」 556

疑問詞形容詞の *whose*, *what*, *which* は必ず名詞とセットで使い、「誰の…ですか?」「どんな…ですか?」「どちらの…ですか?」という意味になる。これらの疑問詞は、名詞を修飾する形容詞と同等の働きをしていることから、**疑問形容詞**と呼ばれる。

類例 *Whose shoes* are these? これは誰の靴ですか。

What subject do you like best? どの教科が一番好きですか。

What type of car do you drive? どんな車に乗っているのですか。

Whose [**Which**] *book* should I read?

誰の [どの] 本を読んだらいいでしょうか。

Which part of Japan do you want to visit?

日本のどの地域に行ってみたいです。

【!】 「どんな種類の…」を表す *What kind* [sort] of ...? では、後ろに来る名詞は無冠詞単数形が一般的だが、時に複数形の場合もある。

What kind of job do you want to do in the future?

将来どんな仕事がしたいですか。

What kind of books did you read during the summer vacation?

夏休みの間にどんな種類の本を読みましたか。

〔期間が長いので複数の種類の本を想定した質問〕

発信のヒント 「今日は何日ですか」「今日は何曜日ですか」

よく混同される表現だが、違いを押さえておこう。

・「今日は何日ですか」 *What’s the date today?* / *What date is it today?*

→ *date* (日付) を尋ねている。《比較的まれ》に *What day of the month is it today?* が用いられることもある。

・「今日は何曜日ですか」 *What day (of the week) is it today?*

→ *of the week* (週のうちの) いつの曜日かを尋ねている

1 when, where, why

12 “**When** did you come home last night?” “At eight.” 557

「昨晚は何時に家に帰りましたか」「8時です」

13 “**Where** is the school library?” “It’s on the fourth floor of this building.” 558

「学校の図書館はどこにありますか」「この建物の4階です」

14 “**Why** didn’t you come to the party last weekend?” “Because I was sick in bed.” 559

「週末のパーティに何で来なかったの」「病気で寝ていたんだ」(→ p.398 **34**)

時間を聞く場合には、**12**のように when を用いるが、「何時」なのか具体的に尋ねる際には What time ...? を用いることもできる。

12’ ≡ “**What time** did you come home last night?” “At eight.”

場所を尋ねる際には**13**のように where を用いる。理由を尋ねる際には**14**のように why を用いる。

ここが Point! 日本語の直訳で疑問文をつくらないことも大事

例えば「営業時間は何時から何時までですか?」と尋ねたい時に、From what time until what time is your store open? などとは言わない。端的に “What are your hours?” とすればよい。英語では漠然と When / How long ...? を使って訪ねるほうが自然。

② **how** + 形容詞／副詞で用いる場合

(3) 程度：「どのくらい？」

類例 **How much** money do you have in the bank?

《量・金額》銀行に貯金はいくらありますか。

How often do you eat out? 《回数》どのくらい頻繁に外食されますか。**How old** are you? 《年齢》あなたは何歳ですか。**How deep** is Lake Towada? 《深さ》十和田湖の水深はどれくらいですか。**How many** students are there in your school?

《数》あなたの学校の在校生は何人いますか。

How much did your guitar cost? 《価格》あなたのギターはいくらしましたか。**How long** will it take to finish your homework?

《時間》宿題を終えるのにどのくらいかかりますか。

How far is the nearest convenient store from your house?

《距離》あなたの家から最寄りのコンビニまでどのくらいの距離ですか。

ここが Point! **how** の後の形容詞は〈尺度〉を表す

How tall ...? という疑問文における **tall** は「高い」ことを意味するのではなく、〈高さ〉という尺度を意味している。ところが、**How short ...?** と尋ねると、「低い」ということが前提とされ、「どのくらい低いのか」を聞くことになる。同じように、**far — near**, **heavy — light**, **large — small**, **long — short** などの対のうち、前者は〈尺度〉として用いられ、後者を用いるのは、それぞれの語の意味を前提とする場合に限られる。

How tall is your younger brother? あなたの弟はどのくらいの身長ですか。**cf. How short** is your younger brother?

あなたの弟はどのくらい背が低いのですか。